

東陽中だより

教育目標 ～明日を拓く～

・豊かな心 ・活きた知性 ・たくましい体
発行責任者 尾崎 朋子
文 責 佐々木正道
発行日 平成30年12月21日

敬天愛人

校長 尾崎 朋子

平成30年もあとわずかで終わろうとしています。先月の三者懇談・教育相談、今月の参観日と親子レクには、お忙しい中多くのご参加をいただき、大変ありがとうございました。保護者の皆様には、今学期も本校の教育に温かいご理解とご協力をいただいたことに深く感謝申し上げます。

さて、本校の玄関から1年生の教室に向かう途中の、歴史館の扉の横に「敬天愛人」という書がかかっています。

今年のNHK大河ドラマ「西郷どん」は西郷隆盛が主人公でしたが、この言葉は、西郷隆盛が好んで使った言葉です。ドラマの中では、西郷隆盛が筆でこの字を書くシーンがありましたし、最終回のタイトルにもなっていました。



「敬天愛人」は、読んで字のごとく、天を敬い人を愛するということです。西郷隆盛の生き様を考えますと、「天」は「天命」と考えることもできますが、ここでは、高い天の上から自分の行動は全部見られている、だから悪いことはできない、と昔からよく言われているように、「人として正しい道」ととらえてみたいと思います。



自分の欲や利益を考えて行動するのではなく、人として当然である考えや行いを大切にし、それに従うこと。そして、どんな人にも思いやりの心を持つ、広い意味での平等な人間愛を意味する言葉と考えます。

私達は、してはいけないと頭ではわかっているもついでにやっちゃったり、やらなければならないとわかっているも行動に移せない（移さない）ことがよくあると思います。

年の終わりに当たって、新しい年が、生徒達が正しく物事を判断し、関わっていく多くの人たちに思いやりある行動ができ、確かな成長を刻む年となることを願うとともに、自分の気持ちの弱い部分に負けないで生きていくことの大切さを、あらためてこの言葉から考えてみてほしいと思っています。

明日から長い冬休みに入ります。生徒一人一人が、夢の実現に向かって、充実した25日間となることを期待しています。

これから本格的な寒さがやってきます。健康に留意され、よいお年をおむかえください。